

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 北村 直紀 TEL 0595-24-2122
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,939	△22.3	△849	—	△882	—	△1,144	—
2020年3月期第2四半期	16,642	△15.5	194	△82.7	123	△87.8	△59	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,792百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △214百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△95.67	—
2020年3月期第2四半期	△4.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,465	9,545	26.9
2020年3月期	37,334	11,385	30.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,545百万円 2020年3月期 11,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2021年3月期	—	4.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△16.4	△800	—	△900	—	△1,400	—	△117.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	12,938,639株	2020年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	975,309株	2020年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	11,963,330株	2020年3月期2Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制約等により、急速に悪化した後、緊急事態宣言の解除を受けて持ち直しつつあります。企業収益は、国内外の活動制限緩和を受けて持ち直しに向かっているものの、そのペースは緩やかなものにとどまっており、設備投資の先送りや手控えの姿勢が強まっています。新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中、景気の下振れリスクも依然として大きく、先行きは不透明な状況となっています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第2四半期累計期間（2020年4月～9月）の自動車販売台数は前年同期比で大幅に減少しました。しかしながら6月以降は国内外の販売の底入れや生産体制の正常化を背景に、輸出を中心に回復傾向にあります。海外でも第2四半期累計期間（2020年1月～6月）の自動車販売台数は各国で前年同期を大きく下回りましたが、6月以降持ち直しに向かっています。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高129億39百万円（前年同期比22.3%減少）、営業損失8億49百万円（前年同期は営業利益1億94百万円）、経常損失8億82百万円（前年同期は経常利益1億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失11億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エンジン部品事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注の落ち込みに加え、一部の海外拠点では現地当局の要請により一時的に工場の操業停止を余儀なくされるなど大幅な減産となりました。その結果、売上高73億87百万円（前年同期比32.6%減少）、営業損失8億77百万円（前年同期は営業損失49百万円）となりました。

(機械装置事業)

主として検査測定装置の販売の減少及びワイヤソーにおけるプロダクトミックス等により採算性が悪化しました。その結果、売上高33億83百万円（前年同期比2.1%減少）、営業損失1億97百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

(環境機器事業)

主力の浄化槽用エアープンプは堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事の延期等により、ディスポーザシステムの売上が減少しました。その結果、売上高20億38百万円（前年同期比0.9%減少）、営業利益2億66百万円（前年同期比11.7%減少）となりました。

(その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億29百万円（前年同期比20.0%減少）、営業損失55百万円（前年同期は営業損失44百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ18億69百万円（前連結会計年度末比5.0%）減少し、354億65百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億74百万円（前連結会計年度末比4.4%）減少し、190億59百万円となりました。

この減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少7億円、流動資産のその他の減少4億66百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9億95百万円（前連結会計年度末比5.7%）減少し、164億6百万円となりました。

この減少の主な要因は、有形固定資産の減少10億61百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ13億3百万円（前連結会計年度末比7.5%）減少し、160億77百万円となりました。

この減少の主な要因は、未払金の減少14億14百万円、支払手形及び買掛金の減少8億62百万円や短期借入金の増加10億24百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ12億74百万円（前連結会計年度末比14.9%）増加し、98億42百万円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金の増加12億68百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ18億40百万円（前連結会計年度末比16.2%）減少し、95億45百万円となりました。

この減少の主な要因は、利益剰余金の減少11億92百万円、為替換算調整勘定の減少7億55百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期通期の業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、2020年10月30日に公表いたしました「業績予想及び配当予想並びに中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,238	5,107
受取手形及び売掛金	6,724	6,024
電子記録債権	520	503
商品及び製品	1,359	1,290
仕掛品	3,490	3,402
原材料及び貯蔵品	2,152	1,868
未収入金	419	301
その他	1,027	561
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,933	19,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,517	12,494
減価償却累計額	△7,511	△7,606
建物及び構築物（純額）	5,005	4,888
機械装置及び運搬具	30,439	31,032
減価償却累計額	△23,967	△24,401
機械装置及び運搬具（純額）	6,471	6,630
工具、器具及び備品	5,646	5,697
減価償却累計額	△5,206	△5,263
工具、器具及び備品（純額）	439	433
リース資産	1,159	1,118
減価償却累計額	△472	△519
リース資産（純額）	687	599
使用権資産	84	119
減価償却累計額	△41	△32
使用権資産（純額）	42	86
土地	2,267	2,237
建設仮勘定	1,198	175
有形固定資産合計	16,113	15,051
無形固定資産	90	100
投資その他の資産		
投資有価証券	460	526
繰延税金資産	100	126
その他	639	605
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,197	1,254
固定資産合計	17,401	16,406
資産合計	37,334	35,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,269	2,406
電子記録債務	601	443
短期借入金	5,650	6,674
1年内返済予定の長期借入金	2,619	2,747
1年内償還予定の社債	110	—
未払金	2,946	1,532
リース債務	206	134
リース負債	17	26
未払法人税等	159	92
賞与引当金	374	436
工事損失引当金	6	3
設備関係支払手形	7	2
その他	1,412	1,576
流動負債合計	17,380	16,077
固定負債		
長期借入金	7,160	8,428
リース債務	323	277
リース負債	25	51
繰延税金負債	247	268
役員退職慰労引当金	64	68
環境対策引当金	4	10
退職給付に係る負債	667	663
資産除去債務	74	74
固定負債合計	8,567	9,842
負債合計	25,948	25,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	7,880	6,688
自己株式	△330	△330
株主資本合計	11,807	10,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	143
繰延ヘッジ損益	△125	△105
為替換算調整勘定	△75	△831
退職給付に係る調整累計額	△314	△277
その他の包括利益累計額合計	△421	△1,070
非支配株主持分	0	0
純資産合計	11,385	9,545
負債純資産合計	37,334	35,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,642	12,939
売上原価	14,450	12,034
売上総利益	2,192	904
販売費及び一般管理費	1,998	1,753
営業利益又は営業損失(△)	194	△849
営業外収益		
受取利息	24	17
受取配当金	8	8
受取賃貸料	11	11
その他	29	16
営業外収益合計	74	54
営業外費用		
支払利息	65	56
為替差損	70	15
減価償却費	1	0
その他	6	15
営業外費用合計	144	87
経常利益又は経常損失(△)	123	△882
特別利益		
固定資産売却益	0	1
助成金収入	—	31
特別利益合計	0	32
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	0	3
固定資産除却損	58	0
環境対策引当金繰入額	1	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	182
特別損失合計	60	186
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	63	△1,037
法人税、住民税及び事業税	130	127
法人税等調整額	△7	△20
法人税等合計	123	107
四半期純損失(△)	△59	△1,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	△1,144

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△59	△1,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	50
繰延ヘッジ損益	△47	19
為替換算調整勘定	△138	△755
退職給付に係る調整額	24	37
その他の包括利益合計	△154	△648
四半期包括利益	△214	△1,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214	△1,792
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、各社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

在外子会社の収益及び費用の重要性が今後益々増加すると予想されることから、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

また、近年の為替相場の変動が著しく、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響緩和を目的に、当連結会計年度より変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用しております。この会計方針の変更が前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期期首残高は130百万円減少し、為替換算調整勘定は同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,966	3,456	2,057	16,480	161	16,642	—	16,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	172	—	172	258	430	△430	—
計	10,966	3,629	2,057	16,653	420	17,073	△430	16,642
セグメント利益又は損失(△)	△49	△9	301	241	△44	196	△2	194

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,387	3,383	2,038	12,809	129	12,939	—	12,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15	—	15	231	246	△246	—
計	7,387	3,398	2,038	12,824	361	13,186	△246	12,939
セグメント利益又は損失(△)	△877	△197	266	△808	△55	△864	14	△849

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。